

JICA緒方貞子平和開発研究所ナレッジフォーラム
「複合リスク下における途上国の債務問題」

中国の途上国融資の現状：中国輸銀の ソフトローンを中心に

2023年2月8日

早稲田大学理工学術院
JICA緒方貞子平和開発研究所
北野尚宏

中国の開発協力実施体制

中国共産党中央外事工作委員会弁公室

部門間業務調整
メカニズム

対外人道主義緊急援助部門間
業務調整メカニズム

国務院

一帯一路建設工作推進指導グループ

国家発展改革委員会 区域開放司(指導グループ弁公室)

中国国際発展
知識センター
(CIKD)

外交部

国家衛生健康委員会、応急管理部、農業農村部など

国家国際発展協力署 (CIDCA)

商務部

中国人民
銀行

財政部

対外援助プロジェクトサポートサービス
センター・グローバル発展推進センター

(CIDCA設立以前対外援助司が対外
援助所掌)

償還
信託基金・無
援助など

商務部国際経済協力事務局(AIECO)
中国国際経済技術交流センター(CICETE)
国際ビジネス公務員研修学院(AIBO)

中国輸出入銀行

国家開発
銀行

国有商業
銀行など

国連及び国連諸
機関 (UNDP、
UNIDOなど)

グローバル発展・南南協力援助基金

中央・地方の建設企
業、プラントメーカー、
貿易会社、コンサルタ
ント、非営利組織、大
学など

1. 無償
援助
2. 無利
子借款

3. 優
遇借款
(GCL)

優遇バ
イヤー
ズ・ク
レジット
(PBC)

バイ
ヤー
ズ・ク
レジット

外貨建
融資

中国輸出信
用保険公司
(SINOSURE)

国際開発金融
機関 (世界銀行、
ADB、AIIBなど)

国際機
関に
よる
援助
など

プロジェクト型建設請負事業、一般物
資供与、技術協力、研修事業、緊急
人道援助

開発途上国

中国の途上国向け資金協力における輸銀ソフトローンの位置づけ

スキーム	概要	関連機関	
1. 無償援助	プロジェクト型建設請負事業、一般物資供与、技術協力、人的資源開発協力、医療チーム、緊急人道援助、グローバル開発・南南協力援助基金など	国家国際発展協力署（CIDCA）、商務部など実施部門、外交部	
2. 無利子借款	元建て、金利0%、貸付実行期間5年、据置期間5年、償還期間10年、公的・公的保証付き融資	CIDCA、商務部、外交部	
中国輸銀の融資スキーム	公的・公的保証付き融資		
	中国輸銀ソフトローン：二つの優遇条件借款（GCL・PBC）		
	3. 優遇借款（GCL）	元建て、金利2～3%（2%未満で供与するケースもあり）、償還期間15～20年（据置期間5～7年）、CIDCAが中国輸銀の検討結果に基づき承認、受入国政府と枠組み協定を締結、財政部が利子補填	CIDCA、財政部、外交部、中国人民銀行、中国輸銀
	優遇バイヤーズ・クレジット（PBC）	政治・外交上の必要を満たし、重点国・地域との経済・貿易協力推進を目的とする借款 ドル建て、輸出信用でありながら優遇借款と同等の貸付条件、中国輸銀が自ら利子補填、ODAとして計上する借入国もある	商務部（対外投資・経済協力司）、財政部、外交部、中国人民銀行、中国輸銀、中国輸出信用保険公司
	その他の公的・公的保証付き融資	市場金利を基準にしたバイヤーズ・クレジットなど	中国輸銀など
その他の融資スキーム	サプライヤーズ・クレジットなど	中国輸銀など	
国家開発銀行（中国開銀）の外貨建融資、クロスボーダー人民元建融資など	市場金利を基準にした貸付条件、資源担保ローンなどが含まれる	中国開銀など	
国有商業銀行などの融資	途上国政府が借入あるいは保証しているケースもある	国有商業銀行など	

注：薄橙色は中国の対外援助の3つのスキーム、クリーム色は優遇バイヤーズ・クレジット

出所：「現代中国を読み解く三要素—経済、テクノロジー、国際秩序」第7章 中国の対外援助の現状と課題 p.172-192 2020.8 勁草書房の図表などをもとに筆者作成 3

中国の地域協力枠組み：輸銀ソフトローンによる資金協力表明額

- 中国は、2004年上海協力機構会合より輸銀ソフトローンによる資金協力を表明
- 胡錦濤政権の後期から金額は増加し、習近平政権期に「一帯一路」構想が提起されて以降も増加傾向続く
- 2019年以降輸銀ソフトローンによる資金協力表明は限定的

億ドル

地域協力枠組み	2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022
国連総会など		<u>100</u>															<u>20</u>	<u>30</u>	
一帯一路														<u>287</u>		0			
中国・アフリカ(FOCAC)			50			100			<u>200</u>		<u>100</u>	<u>350</u>			<u>350</u>				0
中国・ASEAN		50			67			40			100								<u>15</u>
メコン・瀾滄江													65		10		0		
中国・カリブ/中国・CELAC				5				10			100	0			0				0
中国・アラブ諸国													100						
上海協力機構(SCO)	9		12			<u>100</u>			<u>100</u>				0			0			0
中国・中東欧									100										
中国・太平洋島嶼国			4							10						0			
中国・ポルトガル語圏諸国			1				2			3			3						

備考：下線は、GCL・PBC以外の資金協力を含む

出所：中国政府部門のウェブサイトや各種報道などに基づき筆者作成

輸銀ソフトローンの事例

Dasherikandi Sewage Treatment Plant Project



中国水電工程顧問集团公司
International Engineering Co., Ltd (HYDROCHINA)

- 優遇借款(GCL) 1,792 百万元 (270百万ドル) 金利2.00%、返済期間20年 (据置期間5年)



輸銀ソフトローン承諾額推移

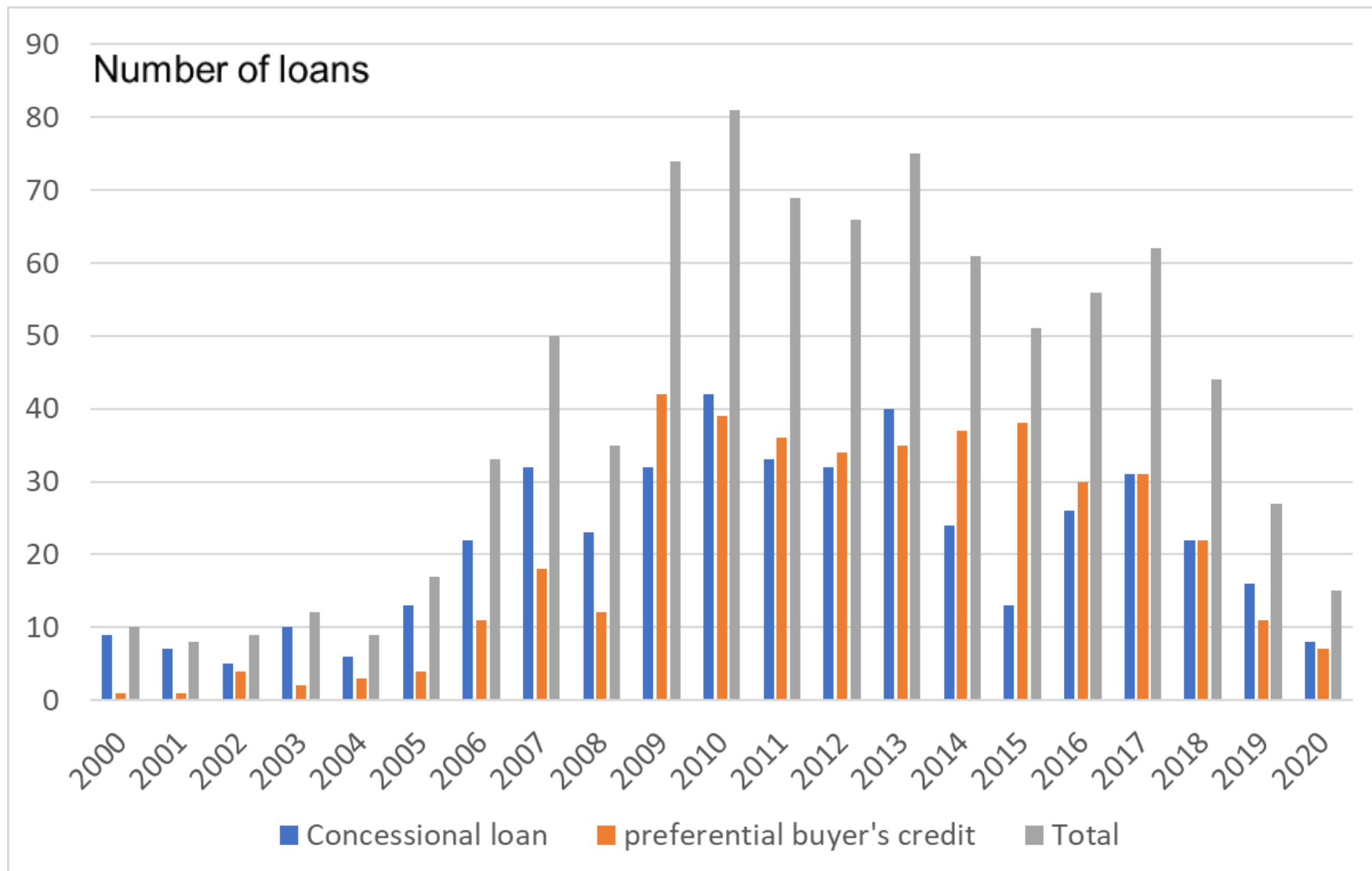
- 2006年より増加、2014年がピーク2019年以降減少



出所: 北野尚宏、宮林由美子「中国輸出入銀行の「二つの優遇条件借款」: 現状と課題」RIETI政策シンポジウム「習近平政権の政策分析～2010年代の検討を中心に」発表資料 2023年1月30日

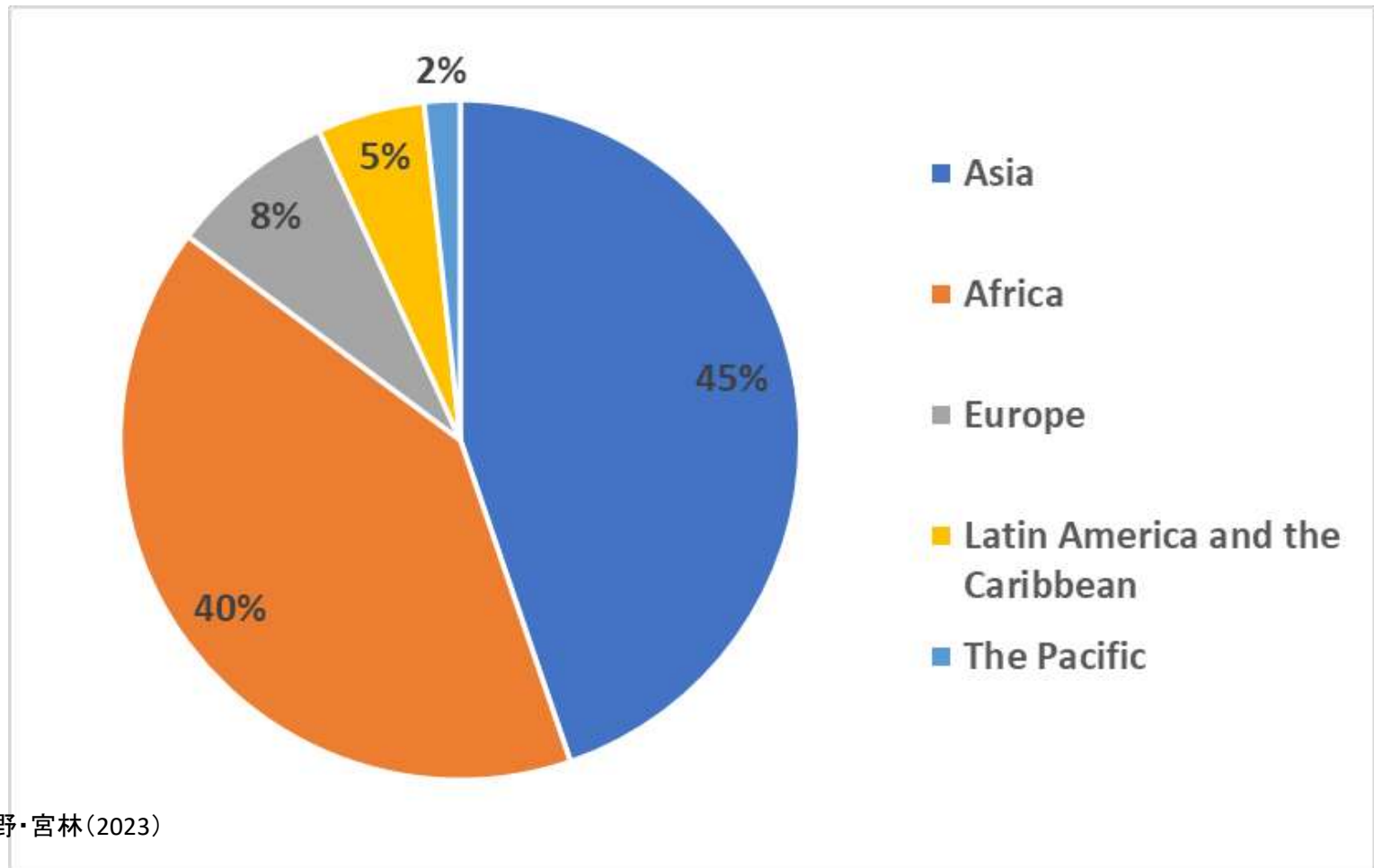
輸銀ソフトローン承諾件数推移

- 2005年から増加し、2009～2013年にかけてピークを迎え、その後減少傾向



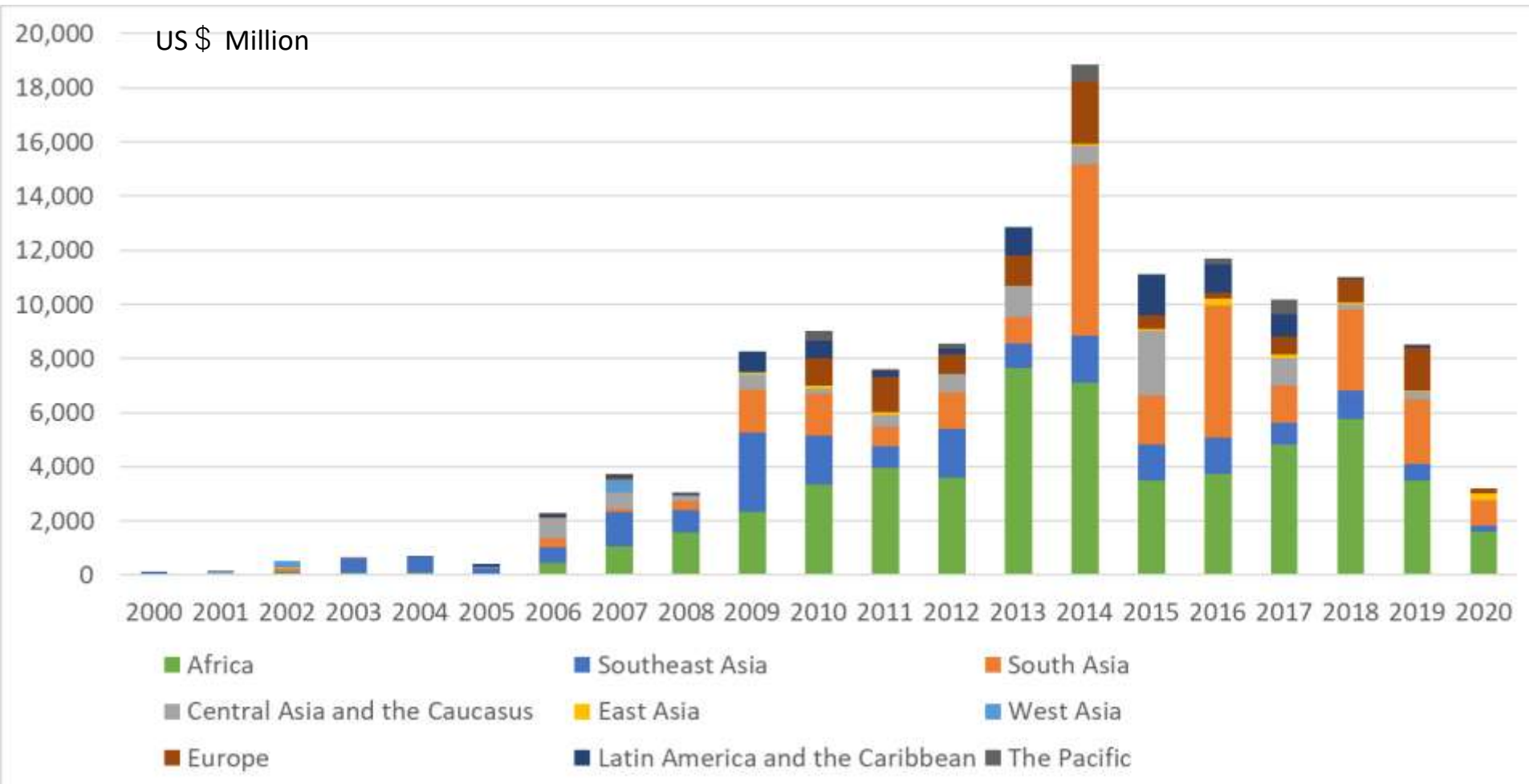
輸銀ソフトローン地域別承諾額割合

- 供与対象国は95カ国、うちアジア22カ国、アフリカ45カ国、ヨーロッパ6カ国、中南米15カ国、大洋州7カ国
- 承諾額では、約45%がアジア、約40%がアフリカ



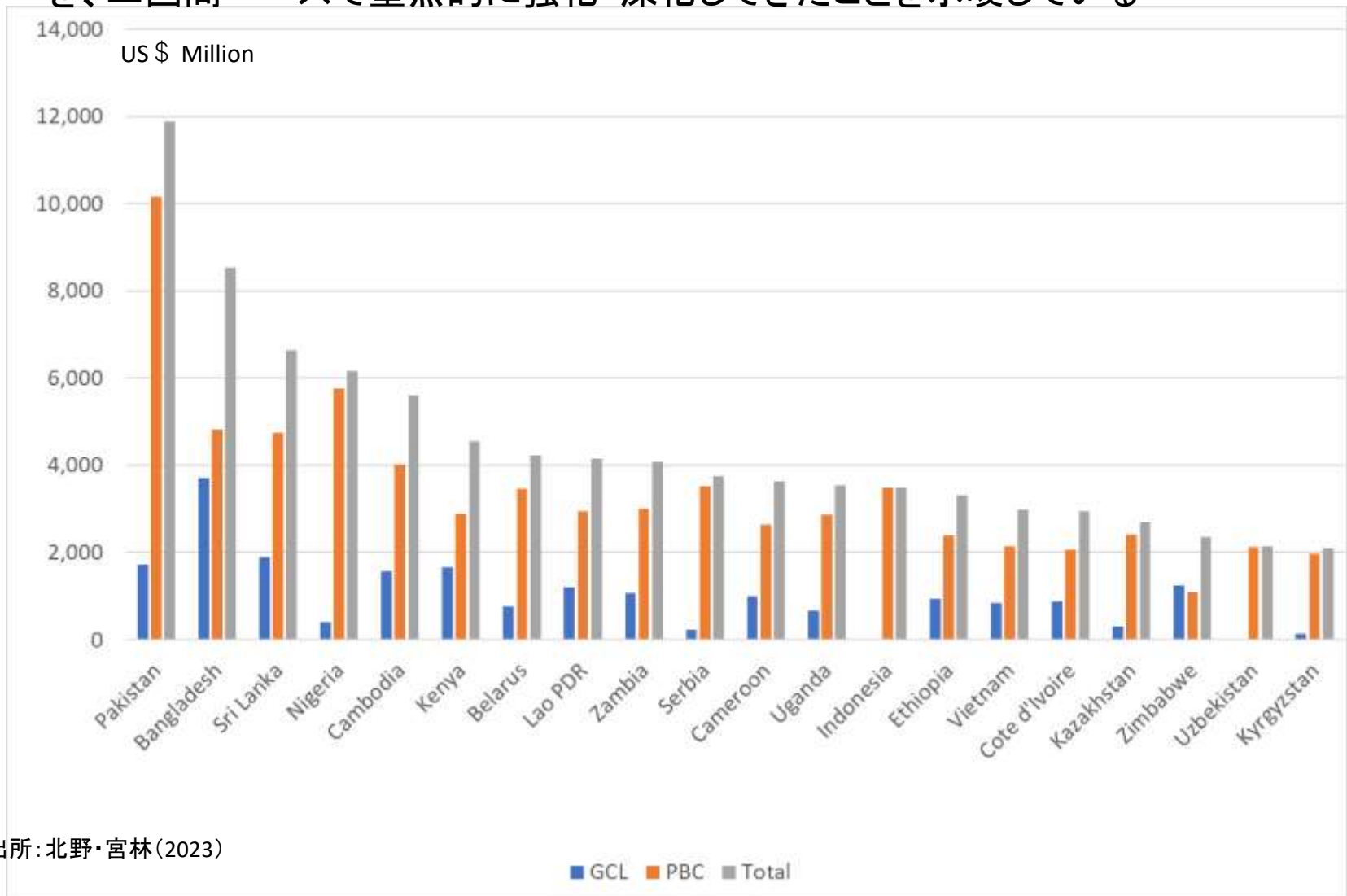
輸銀ソフトローン地域別承諾額割合推移

- アフリカは目立った割合を占める
- アジアの中では、東南アジアが減少傾向
- 2014年以降南アジアが目立って増加



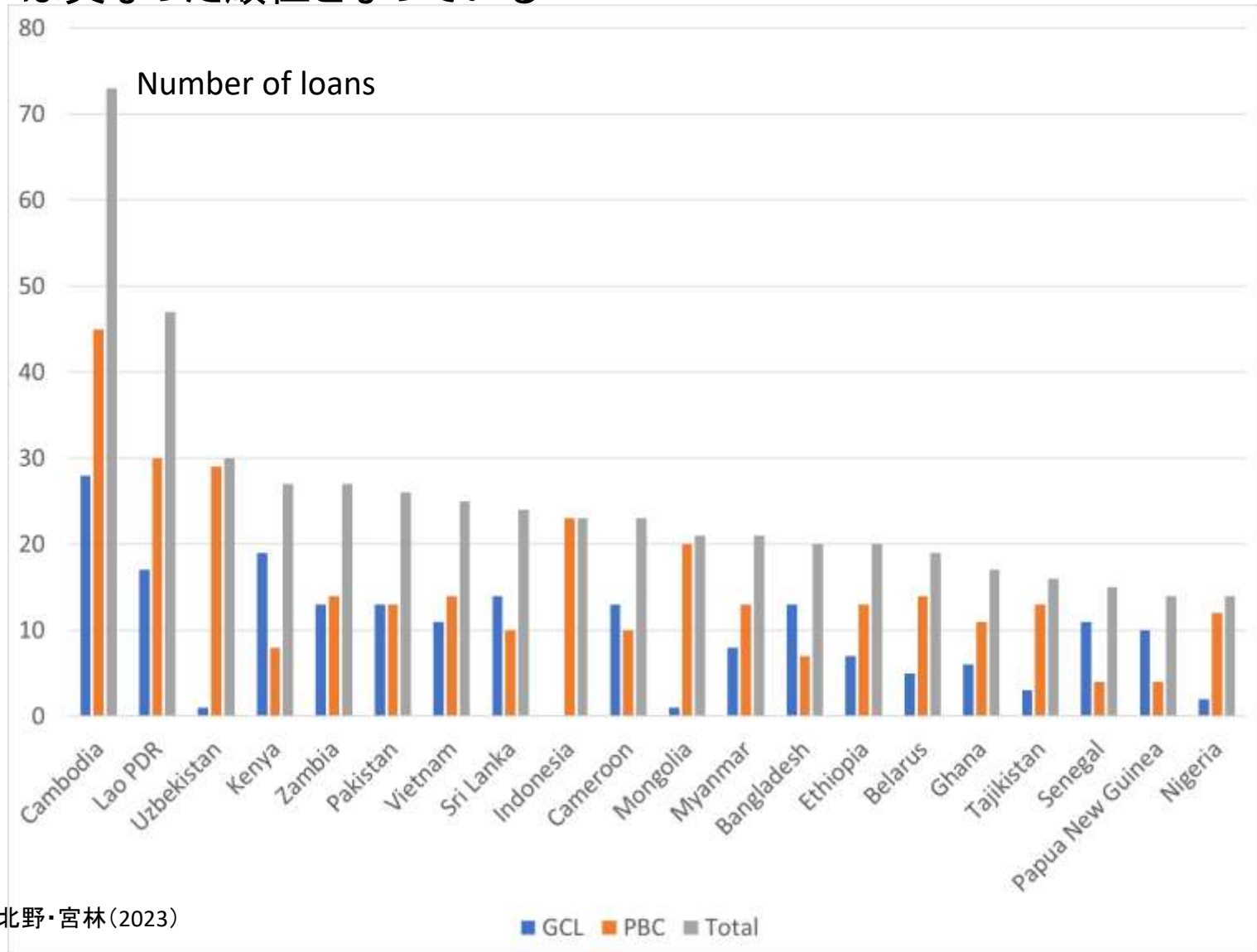
輸銀ソフトローン国別承諾額（上位20ヶ国）

- パキスタン、バングラデシュ、スリランカの最上位3カ国が南アジア諸国
- インドの存在により中国との地域協力枠組みが実現しない南アジア諸国との関係を、二国間ベースで重点的に強化・深化してきたことを示唆している



輸銀ソフトローン国別承諾件数(上位20ヶ国)

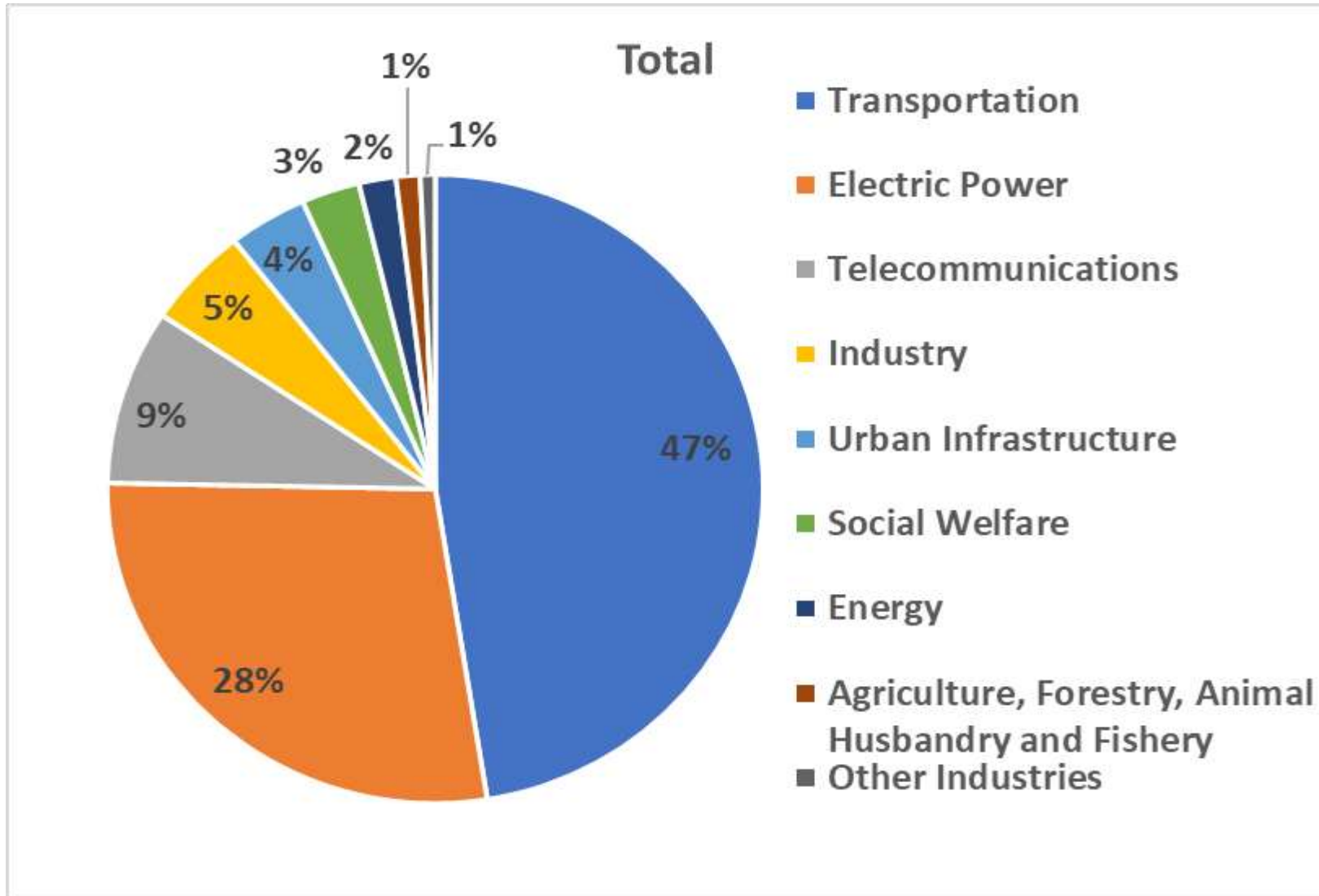
- カンボジア、ラオス、ウズベキスタンが上位3位を占め、国別承諾額とは異なった順位となっている



出所:北野・宮林(2023)

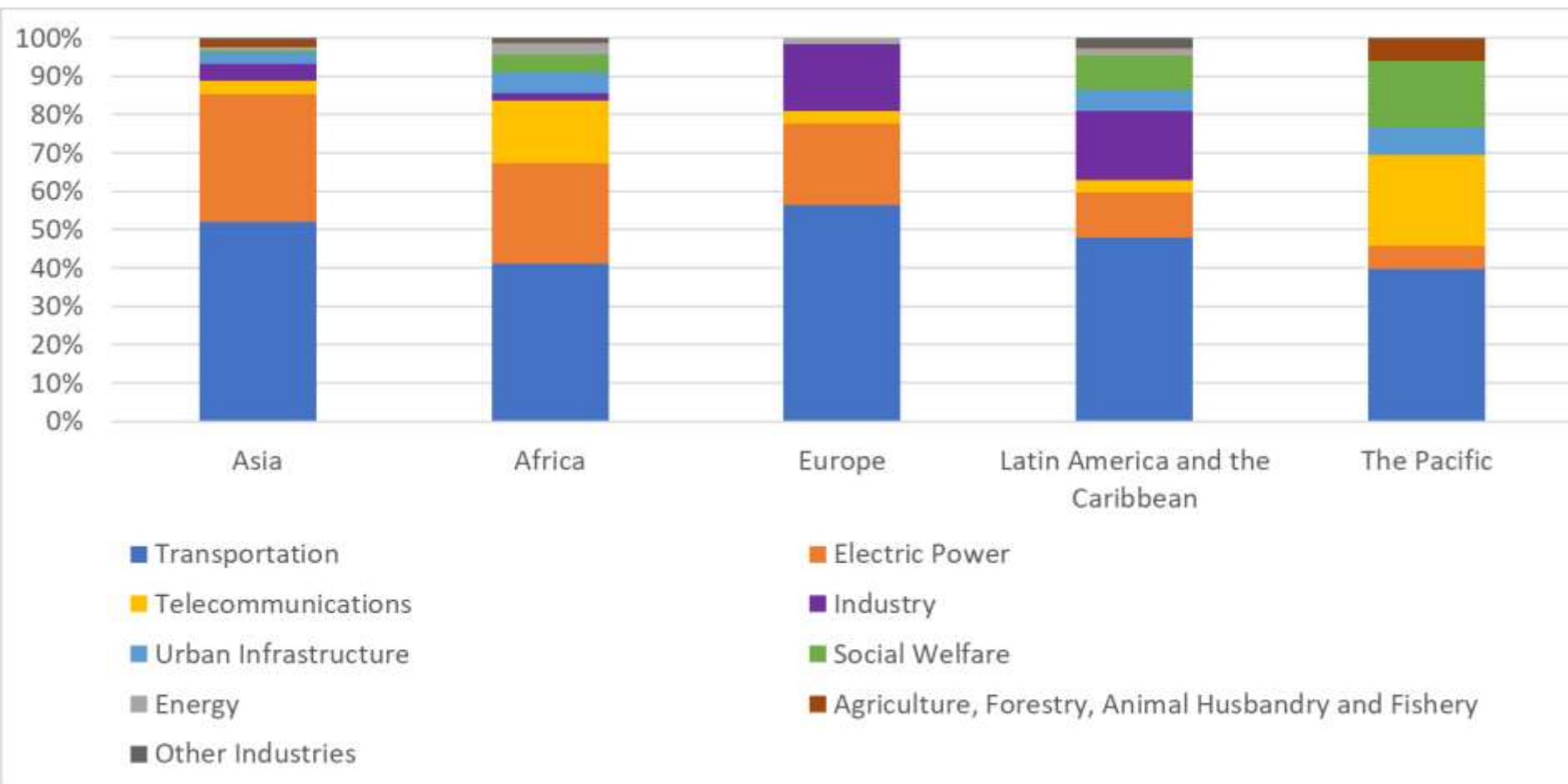
輸銀ソフトローンセクター別承諾額割合

- 運輸、電力が約47%、28%と突出しており、通信約9%、工業約5%が続く
- 資金需要の高いインフラ整備に借款が供与されている傾向がうかがわれる

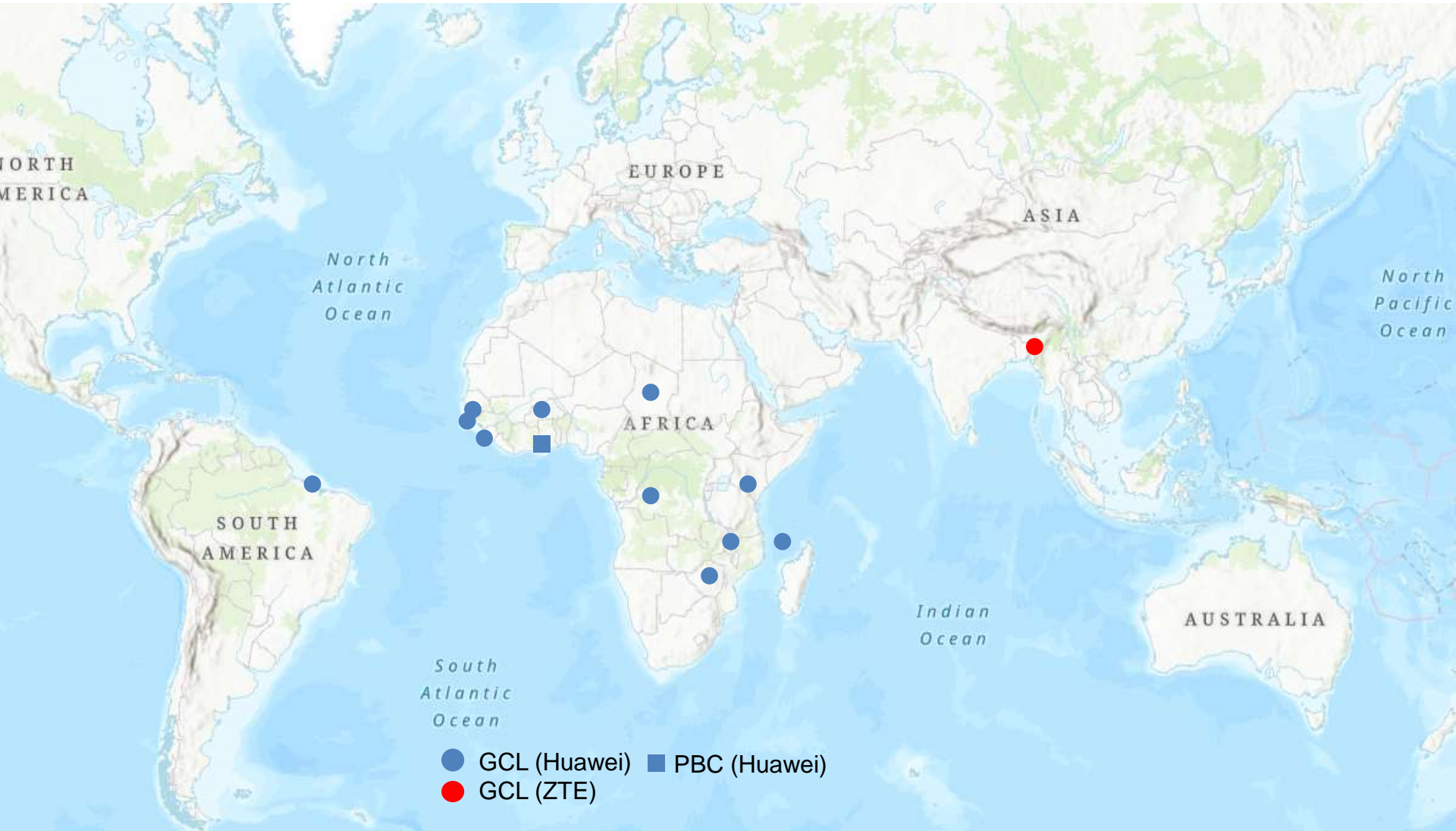


輸銀ソフトローン地域別セクター別承諾額割合

- どの地域も運輸セクターの割合が大きく、アジア、アフリカ、ヨーロッパでは次に電力セクターの割合が大きい
- アフリカ、大洋州では通信セクターが目立っており、中国の通信メーカーが輸銀ソフトローンを活用しデジタル市場に参入していることが推察できる



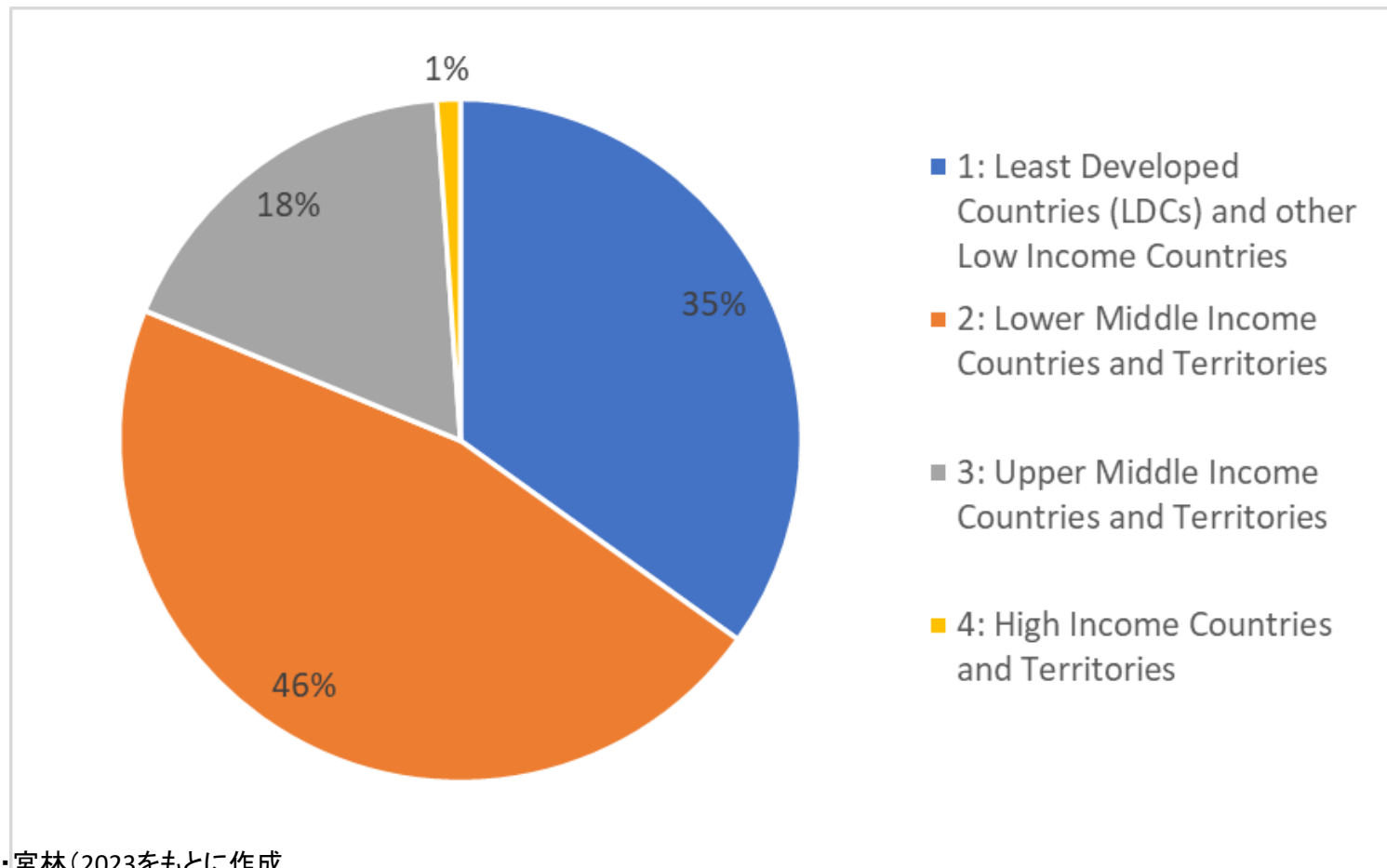
通信セクターに対する輸銀ソフトローンの供与実績(2018~20年)



出所: 北野・宮林 (2023)

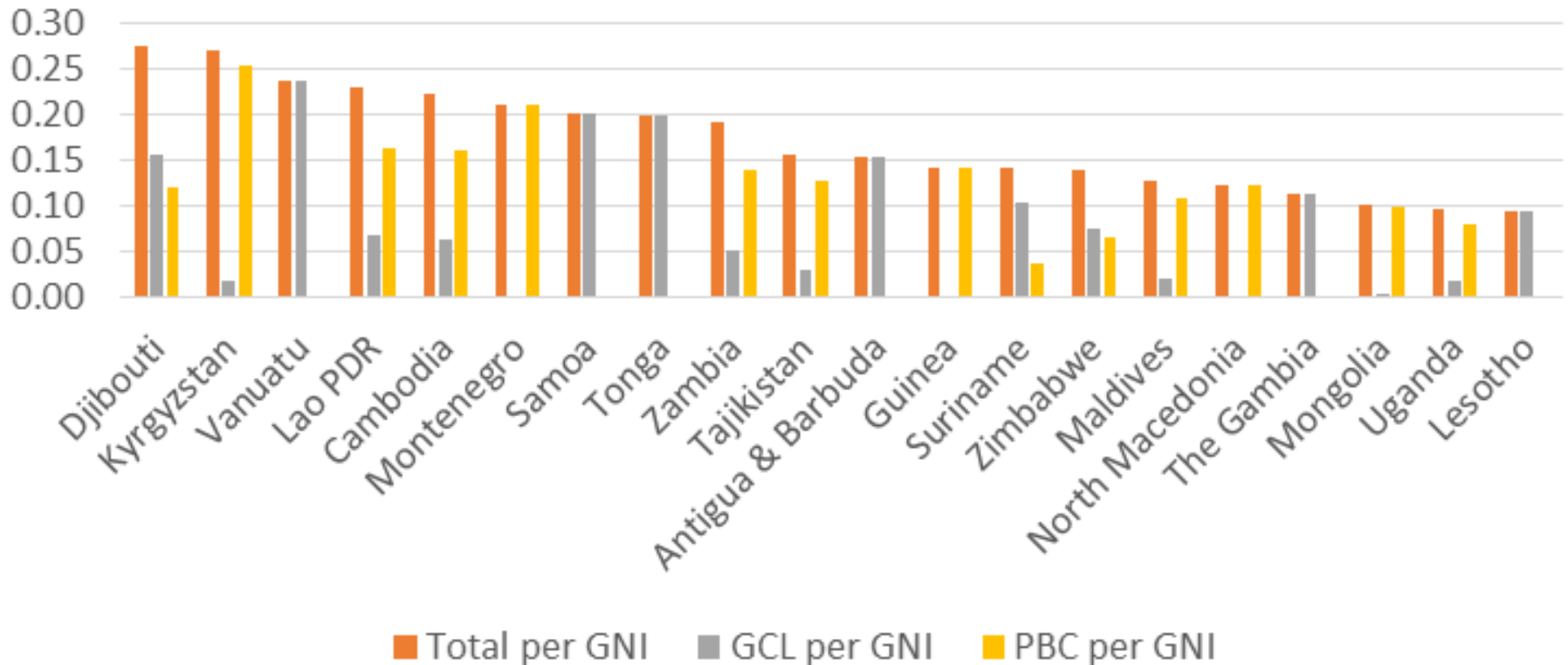
輸銀ソフトローン所得水準別承諾額割合

- 後発開発途上国(LDC)及びその他低所得国が36カ国、低中所得国25カ国、高中所得国30カ国、高所得国4カ国
- 承諾額では、低中所得国向けの割合が46%と最も大きく、LDC及びその他低所得国向けが35%、高中所得国向けは18%



輸銀ソフトローンのGNIに占める割合が高い国 (上位20ヶ国)

- 20カ国のうち、9カ国(ジブチ、ラオス、サモア、トンガ、ザンビア、タジキスタン、ジンバブエ、モルディブ、ガンビア)が、債務持続性高リスクの国



中国の政策調整：第2回「一帯一路」国際協力 サミットフォーラム（2019年4月）

- ・グリーン投資・グリーンファイナンス、高い透明度、汚職を許容しない
- ・参加企業がプロジェクトの建設、運営、調達および調達と入札において、広く受入れられている国際的な規則と基準に則ること、同時に参加国の法令を尊重することを推し進める
- ・すべてのプロジェクトの商業的および財政的な持続可能性を確保→「一帯一路債務持続性分析枠組み」の公表
- ・人間中心のアプローチ、貧困緩和と雇用創出を優先

出所：第2回「一帯一路」国際協力サミットフォーラム開幕式での習近平国家主席挨拶（2019年4月26日）

<http://language.chinadaily.com.cn/a/201904/28/WS5cc4fc9ca3104842260b8d0b.html>

「一帯一路債務持続性分析枠組み」

http://www.mof.gov.cn/zhengwuxinxi/caizhengxinwen/201904/t20190425_3234663.htm

中国は延伸区間の融資に同意せず

北部回廊鉄道ネットワーク: ケニア標準軌鉄道 (SGR)

第1期: モンバサ・ナイロビ鉄道、第2期: ナイロビ・マラバ鉄道

契約者: China Road & Bridge Corporation (CRBC)



中国輸銀の融資額推移(ネット・ベース)

- 中国輸銀の返済額を差し引いたネットベースの貸付実行額の推移
- GCL・PBCが含まれていると推測される国際協力借款(International cooperation loans)は2018年より急減、2020年、2021年はマイナスに転じる



出所: 各年の中国輸銀年報の貸付残高推移から筆者推計

中国輸銀のブレンド・ファイナンスプロジェクト

- 大規模プロジェクトの場合、輸銀ソフトローンだけでなく、市場金利ベースのバイヤーズ・クレジット(BC)とのブレンドにより契約金額をカバー
- 無償援助(GRT)や無利子借款(IFL)とブレンドし、より譲許的な条件とするケースもある

US \$ Million

Country	Year	Project	Contractor	Scheme	Amount
Pakistan	2014	Karachi Nuclear Power 2-K3	China National Nuclear Corporation (CNNC)	GCL	427
				PBC	4,001
				BC	2,050
Kenya	2014	Kenya Mombasa Nairobi Standard Gauge Railway	China Communications Construction Company Ltd. (CCCC)	PBC	1,600
				BC	2,004
Pakistan	2015	Lahore Orange Line Metro Train	China Railway Corporation China North Industries Corporation	GCL	193
				PBC	1,235
				BC	203
Nepal	2016	Pokhara Regional International Airport	China CAMC Engineering Co., Ltd. (CAMCE)	GCL	213
				IFL	31
Maldives	2016	China Maldives Friendship Bridge	China Harbour Engineering Company Ltd. (CHEC)	GCL	69
				GRT	102